



【2023年度・冬期開園期間】 4/7(日)まで 【開園時間】 午前10:30～午後3:30(最終入園は午後3:00まで)
※4/8(月)～4/26(金)は休園 【2024年度・夏期開園】 4/27(土)～11/3(祝) 【開園時間】 午前9:30～午後5:15
(最終入園は午後4:00まで) ※10/16(水)からは午前9:30～午後4:30(最終入園は午後4:00まで)

旭山動物園だより

発行所

旭川市旭山動物園
動物図書館
☎0166-36-1104



【ホッキョクグマ】

体 大きい方がオスの「ホクト」(右)、
小さい方がメスの「ピリカ」(左)。



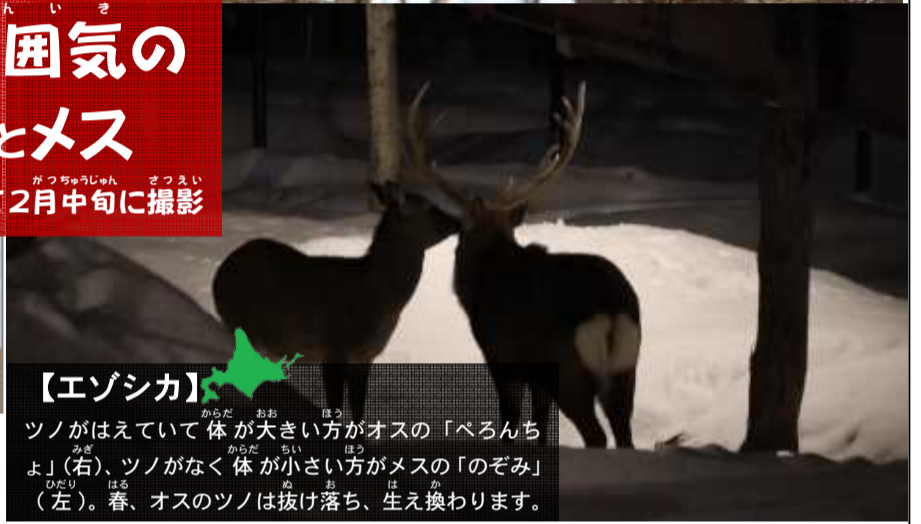
「ピリカ」(左)が口を開いて近くに来る「ホクト」
(右)を嫌がっても、攻撃せず受け止める「ホクト」。
同居初日(2/17)は闘争もなく静かに始まりました。



【クマタカ】

体 大きい方(右)がメス、細く小
く見えるのがオス(左)。

秋から冬が繁殖期
いい雰囲気
の
オスとメス
※写真はすべて2月中旬に撮影



【エゾシカ】

ツノがはえていて 体 大きい方がオスの「べろんち
よ」(右)、ツノがなく 体 が小さい方がメスの「のぞみ」
(左)。春、オスのツノは抜け落ち、生え換わります。

北海道で生きる「生きもの」の多くは、
「食べられる生きもの」が出てくる春が、出産・子育ての季節。
秋の終わり頃から繁殖期をむかえるエゾシカやエゾタヌキといったほ乳類、クマタカやシマ
フクロウといった鳥類も秋の終わりから冬の終わり頃までが繁殖期となっています。自然界
では木の葉や草花が芽吹き、葉に集まる昆虫や冬眠明けのは虫類といった「食べられる生き
もの」(エサ)が出てくるころに子どもが生まれ(ヒナが生まれ)、子育てが始まります。自然
のサイクルは、ほんとうによくできています。クマタカ、エゾシカ、エゾタヌキは、交尾が確認
されていますし、シマフクロウは2/29、メスの「モコ」の産卵・抱卵を確認しました。
また、北海道で生きる「生きもの」ではありませんが、2/14、ホッキョクグマのオス「ホ
クト」が札幌市円山動物園より来園しました。メスの「ピリカ」とは2年ぶりの再会となり
ました。「ホクト」には発情がきていたので2/17、「ピリカ」との同居をスタートしまし
た。3月現在、2頭とも争うことなく穏やかな毎日を送っています。ホッキョクグマの繁殖
期は冬。繁殖がうまくいき、無事出産・子育てまでいくことを楽しみに待ちましょう。

「生きもの」が変化し始めます
もうすぐ「春」。いろんな
昼と夜の長さや太陽の光があ
る角度、気温や湿度や風の向
き、潮の満ち引きなど、自然界
はいつも、少しずつ何かが変化
しています。その小さな変化を
感じ取りながら「生きもの」の
生き方も変化しています。暦で
いう「春」は、「冬」という気温
が低く、暗い季節の次にくる
季節。植物は芽を出し、つぼみ
も開きますし、土や木の中から
冬を越した生きものが出てきま
す。園内の動物たちも同様、い
ろんな変化をし始めます。暦で
動いている私たち人間にもい
ろんな変化がある「春」はもうす
ぐ。何がどのように変化したか、
4月末からの夏期開園時に観
察しに来てくださいね！

「第2こども牧場」でヒツジの子どもが生まれました

2/20、ヒツジやヤギ、ブタを飼育している
「第2こども牧場」でヒツジの「イツカ」が
出産しました。イツカとそっくりな「ウシ柄」
のオスの子どもです。生まれてすぐ立って歩
くことができるヒツジ。今では「第2こども牧場」
の屋内飼育スペースで元気に跳ね回っていま
すよ。気になる子どもの毛。この後、母親と同
じ茶色い毛がはえてくるのでは…とのことで
す。成長をあたたく見守ってくださいね！



母ヒツジの「イツカ」と同じ模様
で生まれた子ども(2/20こども
牧場スタッフ撮影)



【エゾタヌキ】

体の大きさとオスとメスを見分けること
が難しいので、毛の色のバランスなどで
判別しています。胸部分の黒い毛が多いの
がオスの「こたろう」(写真左)、少ない
のがメスの「うみ」(写真右)です。



【シマフクロウ】

体 大きい方がメスの「モ
コ」(写真右)、小さい方がオ
スの「ロロ」(写真左)。

2023年度の冬期開園は4/7(日)まで。約3週間休園し、

4/27(土)から夏期開園がスタートします！

旭山動物園は4/7(日)で2023年度の冬期開園が終わり、夏期開園へ向けて
の準備のため、3週間ほどお休みをいただきます。休園中は、施設の補修や獣舎
内の土や砂の入れ替え、「ととりの村」の天井のネット張りなど各所で作業をし
ています。4/27(土)の夏期開園からは、冬期間、放飼場に出ていなかった
「ととりの村」のカモやハクチョウ、フラミンゴやクジャク、北海道産動物舎の
小型フクロウ類、外で「ホー——ッ・ホー——ッ」と遠くまで響き渡る声で鳴く
シロテテナガザルが屋外で観察できるようになります。飼育スタッフ手作りの
「手書きパネル」もお楽しみに！